

令和6年度
校長だより

あかつき

1月号



～ あかつき山の麓から感謝を込めて ～



丹波市立新井小学校 校長 谷川知美



明けましておめでとうございます



希望にあふれる新年を迎えました。学校では、冬休みを思い思いに過ごした子どもたちの元気な声が響き渡っています。

地域の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素から本校の学校教育活動へのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

3学期 始業式の話

令和7年1月7日（火）、3学期の始まりです。インフルエンザで会えない子どもたちもいましたが、キラキラとした表情で登校してくれた子どもたちに、次の話をしました。

みなさん、おはようございます。そして、明けましておめでとうございます。いよいよ3学期が始まりますね。冬休みはしっかりとあいさつができましたか？健康でしたか？

今日は、みんなと出会えて本当にうれしいです。久しぶりに会えた皆さんに、今日は2つの話をします。1つ目は、目標を持ってチャレンジすること、2つ目は次の学年の準備をすることについてです。

まず1つ目、これは何でしょう。そうです。蛇の絵です。今年は巳年ですね。

蛇は、脱皮を繰り返して成長するので、新しいことに挑戦したり、目標をもって進めたりするのによい年と言われています。

皆さんは、何に挑戦（チャレンジ）しますか？

「たくさん本を読もう」「きちんとあいさつができるようにしよう」「友達と仲良くしよう」など、なんでもいいですよ。

校長先生の目標は、健康で学校に来ることです。たくさん食べて運動をして、ゆっくりと眠って、体を休めながら、風邪をひかないように、元気な体をつくりたいと思っています。



始業式の様子

2つ目は、次の学年の準備をすることです。今日から始まる3学期は0学期とも言われます。これは1年生にとっては2年生の0学期、6年生にとっては中学1年生の0学期ということです。

校長先生も目標を持ってがんばるので、皆さんも1つ大きくなることを意識しながら、今よりお兄さん、お姉さんになれるよう、貴重な3学期を大切に過ごしましょう。

これで校長先生の話进行にします。

3学期が、一人ひとりにとって、どのような締めくくりになるのか、とても楽しみです。

旬を知る大切さ

年末に棚の整理をしていると、「旬のカレンダー 家庭で教わること（ダイヤモンド社）」という本が出てきました。

旬といえば何を想像されますか？

この本では、旬の野菜、魚介、味、菓子、花、季節のレジャー、家の仕事、行事などについて書かれています。

【1月の例】

野菜…ブロッコリー、野沢菜、ケール
味 …お雑煮、紅白なます、おでん
花 …福寿草、スイートピー、水仙
行事…お正月、初詣、小正月 等

本を見た後、旬を意識しながら身の回りを見渡すと、季節のものがたくさん目に入ってきました。例えば、旬の食べ物を食べて、栄養価が高く、予算的にも割安だったと気づいたり、「冬の日本」らしさに触れて、ちょっと得をした気分になったり、気持ちや和らぐのを感じたりしました。子どもにとっても、同じだと思います。季節の移ろいを感じることができた子どもは、そ

の価値に気づくことができるのではないのでしょうか。季節を感じることは、内面の豊かさにつながると思います。

皆さんは、日々、季節（旬）を感じておられますか？

学びたい時が「旬」

私は、学習や学びにも旬があると考えています。学ぶべき時に学ぶべき内容に触れることが、一番習得しやすいと思うからです。

例えば、幼児の頃には、たくさんの本に触れ、読み聞かされることで、自然と文字を覚えたり、文字を書きたくなったりします。また、小学校では2年生の時に九九を覚えます。これは、呪文のように唱えながら覚える暗記が、小さいころに身につくやすいことに関係しています。そして、2年生の発達段階が、掛け算の基本的な意味が分かり、数を量としてとらえる力が備わってくる時期と合致しているからだといわれています。また、友達と暗記や暗唱を楽しみながら行える年齢でもあります。

本校でも、子どもたちの発達段階に応じた学年のカリキュラムに沿って、「旬」の教育活動を進めています。引き続き、子どもたちが興味関心を持ったことに取り組んでいけるよう、個に応じた支援や教育課程の工夫をしていこうと、来年度に向け再考しているところです。

最後になりましたが、だれにとっても、学びたい時が学ぶ時です。大人になっても興味あることにどんどんチャレンジしてみたいのでしょうか。巳年にちなんで、今から始める新しいワクワクが、皆様の素敵な一年の始まりとなりますように…。

本年も地域の皆様にとって、幸多き年でありますようお祈り申し上げます。

